（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ミライクふくやま青葉台教室			
○保護者評価実施期間	2025年　11月　24日	～	2025年　12月　19日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	41	（回答者数）	33
○従業者評価実施期間	2025年　12月　15日	～	2025年　12月　19日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　1月　28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	IT療育を通じて「楽しい」から「できた！」、「できた」から「できるからもっと楽しい！！」の体験を大切にしている	日ごとに課題内容を変え個別にカリキュラムの作成を行う	専用アプリを活用し、視覚認知機能向上を目指す。 スクラッチなどビジュアルプログラミングを通じて論理的思考を育むプログラムを実施し、発達の支援おこなう
2	生活やコミュニケーションに必要なスキルを集団活動を通じて学び、様々な経験をすることで社会性を育んでいく	各種イベントを計画的に実施し、体験活動を通じた発達支援の機会を確保している	季節行事や体験活動など各種イベントを開催し、児童が楽しみながら多様な経験・体験を積める機会を大切にしている。体験を通して得られる成功体験や気づきを、日々の成長につなげていく
3	子どもに寄り添う姿勢を大切にし、安心できる関係づくりを重視している	見通しが持てるよう、一日の流れを分かりやすく提示している。成功体験を言葉で伝え、「認められている」感覚を育てている	一人ひとりの気持ちに寄り添う姿勢を大切にし、安心して過ごせる関係づくりを重視してる。無理のない関わりや分かりやすい環境づくりを通して、信頼関係の構築につなげている

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童一人ひとりへの関わりの時間にばらつきが生じる場面がある	情緒が不安定な児童や支援ニーズの高い児童への対応が優先され、関わりの時間に偏りが生じやすい	職員間で役割分担を行い、全体活動と個別支援のバランスを調整する
2	個々の興味関心に十分に対応しきれない場合がある	活動の進行や安全確保を優先する場面で、個別の希望に十分対応できないことがある	児童の声や反応を活動内容に反映する工夫
3	日々の様子や支援内容について、保護者へ十分に伝えきれない場合がある	送迎時や連絡帳でのやり取りが限られた時間となり、支援の意図や経過まで丁寧に伝えることが難しい場合があるため	連絡帳や記録の記載内容を工夫し、支援の目的やこどもの変化が分かるよう整理するとともに、必要に応じて面談や電話等を活用し、情報共有の充実を図る

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	ミライクふくやま青葉台教室

公表日　2026　年　2月 6日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		発達支援室や活動スペースの広さを踏まえ、利用定員内であっても活動内容や児童の特性に応じて人数調整を行っている	必要に応じてスペースのレイアウト変更や備品の見直しを行い、児童一人ひとりが安心して活動できる環境づくりを継続する
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		利用定員に対し必要な職員配置を行っている	利用が集中する時間帯や、支援の必要度が高いこどもが複数いる場合には、十分な対応が難しい場面がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動ごとにスペースを分け、視覚的にわかりやすい環境構成を心がけている	今後も特性や状況に応じて環境整備の工夫と改善を継続していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		パソコン活動・学習をする場と余暇を過ごす空間場の空間わけをしている。荷物の出し入れ場所など、導線を考慮して配置をしている	整理整頓のルールを職員間で再確認し、こどもと一緒に環境を整える取り組みを進めていく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		情緒が不安定な時や刺激が強い場合には、安心して過ごせるスペースへ誘導するなど柔軟に対応している	静かに過ごしたい場合、完全な遮音の難しさがある
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員が気づいた点や提案を出しやすい雰囲気づくりを心がけている	業務改善に向けてPDCAサイクルを意識した取り組みを行っているが、今後も職員全体がより参画しやすい仕組みづくりに努めていく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1回、保護者向け評価表（アンケート）を実施し、意向や満足度を把握する機会を設けている	保護者向け評価表を通して意向把握を行い、業務改善に活かしているが、今後もより多くの声を反映できるよう取り組みを進めていく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議の場だけではなく、日頃からのコミュニケーション・意見の出し合いをし、様々な視点での意見を取り入れるようにしている	職員の意見を把握し業務改善に活かしているが、今後も意見を反映しやすい体制づくりに努めていく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者評価を定期的に実施する体制が十分に整っていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内研修や事業所内研修を実施し、支援に必要な知識や技術の共有を行っている	職員の資質向上を目的とした研修機会を確保しているが、今後も計画的な研修実施と内容の充実に取り組んでいく
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムをホームページにて公表をしている	知らない方には、ホームページに公表していることを伝える
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		こども本人の気持ちや思いを尊重しながら、保護者のニーズも踏まえた支援目標を設定している	アセスメントを基に、こどもと保護者のニーズを踏まえた放課後等デイサービス計画の作成に努めていく
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員間で役割や支援方針を共有し、計画に基づいた一貫性のある支援に努めている	計画内容の意図や目標について、職員全体への周知をより丁寧に行っていく
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		児童発達支援管理責任者を中心に、支援の方向性にずれが生じないよう連携を図っている	定期的な振り返りを行い、計画と支援の整合性を高めていく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントシートの活用や、面談やモニタリングを通して、生活面・行動面の変化を継続的に確認している	日々の観察結果を、十分にアセスメントとして整理しきれない場合がある
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインを踏まえ、「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」の視点を意識して計画を作成している	支援内容が「本人支援」に偏り、「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」の視点が十分でない場合がある
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムについて、職員間で意見交換を行いながら立案している	職員間で連携し、チームとして活動プログラムの立案に取り組んでいるが、今後も参画しやすい体制づくりを進めていく
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節行事や外出活動を取り入れ、活動に変化を持たせている	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているが、今後も内容の見直しや改善を継続していく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		一人ひとりの状況に合わせて、内容を選択して活動できるようにしている	こどもの状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っているが、今後も柔軟な対応と計画の見直しを継続していく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に職員間で打合せを行い、その日の支援内容やこどもの状況、役割分担について確認している	支援内容や役割を確認しチームで連携した支援を行っているが、今後も情報共有の充実を図っていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	○		良かった点や課題、気づいた点を共有し、次回の支援に活かせるよう努めている	業務終了時間の都合により、十分な振り返りの時間を確保できない場合がある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援について記録を行い、こどもの様子や支援内容を継続的に把握している	記録をより効果的に活用し、支援の検証と改善に結び付けていく

	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、見直しが必要なこと・継続が必要なことなどを計画に取り入れている	今後も保護者との連携・子どもへの寄り添いを十分に行い、一人ひとりに適した支援を行い続けていく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		日々の活動や行事、個別支援の中で、こどもの発達段階や特性に応じて活動内容を柔軟に構成している	活動計画の段階で４つの基本活動の視点をより明確にし、バランスの取れた支援となるよう工夫していく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動内容や遊び、休憩の取り方等について、複数の選択肢を提示し、こども自身が選べる機会を設けている	今後は日常の支援の中で、より多くの場面で自己選択・自己決定の機会を意識的に設定していく
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管が会議前に支援記録や職員間の情報共有を行い、こどもの様子や課題を具体的に伝えられるよう準備し参加している	今後は会議への参加体制を整理し、より継続的にこどもの状況を把握した職員が参画できるよう調整していく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		相談支援事業所や学校等と連携を取り、支援出来る体制を作っている	連携をさらに深め、こどもの状況に応じた支援の充実を図る
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎・その日の子どもの様子など、連携が必要なことを、学校・学童と連携を行っている	学校と行事予定や下校時刻等の情報共有を行い、送迎時やトラブル発生時にも適切な連絡調整を行っていく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		児童発達支援事業所等から、こどもの支援内容や配慮事項について情報提供を受けている	保護者からの聞き取りが多いため、就学前に利用していた保育所等と情報共有の機会を増やしていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	本人や保護者の不安軽減を意識し、必要に応じて相談対応や引き継ぎを行っている	卒業後を見据えた支援や連携を、より早い段階から意識していく必要がある
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	○		より多くの助言、研修を受ける機会を設けスキル向上を図っている	必要に応じて助言や研修を受け、支援の質の向上に努めていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	交流時の支援方法や安全面への配慮について事前整理をおこなう	定期的・継続的な交流の機会を設けるまでには至っていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		可能な限り参加をしている	参加内容を事業所内で共有する仕組みをさらに整えていく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡帳、電話等を活用し、日頃からこどもの様子や活動内容を保護者に伝えている	保護者と顔を合わせる機会が少ない家庭もあるため、手段の工夫が必要（電話・連絡ノート・訪問など）
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者との面談や日常のやり取りを通して、家庭での関わり方や声かけの工夫等について助言や情報提供を行っている	家族が参加しやすい研修や支援プログラムの実施・紹介を検討していく
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行い、内容に変更があった場合は、文書配布や口頭説明を行い、周知に努めている	説明内容が一度きりになり、時間の経過とともに理解が薄れる場合がある
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談を実施し、こども・保護者の意向をしっかりと話し合うようにしている	本人の意思をより多面的に把握できるよう改善していく
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	○		計画書の内容・目標立てた理由を説明し、同意をもらっている	保護者の就労状況や家庭の事情等により、十分な説明時間を確保できない場合がある
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		日頃から保護者との信頼関係づくりを大切にし、子育てに関する悩みや不安について相談しやすい環境を整えている	内容に応じて関係機関と連携し、保護者への支援が適切に行われるよう配慮していく
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	祝日のイベント活動で、保護者・きょうだいの参加機会を設けている	定期的な保護者会や父母の会の開催には至っていない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付窓口や対応手順を定め、運営規程等により保護者へ周知している	今後は周知方法を見直し、より分かりやすい案内を行っていく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSや事業所のホームページ等を活用し、活動概要や支援内容、連絡体制について情報発信を行っている	情報発信は行っているが十分に浸透していないため、伝え方の工夫を進めていく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		厳重に管理をしている	書類管理（施錠・保管場所・持ち出し禁止等）について、定期確認を行う
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用児童に応じたサービス提供を常時行っている	保護者との情報共有が、送迎時など限られた時間に集中しがち
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	事業所周辺の清掃活動の参加とあいさつを通じて、日常的な地域交流を意識している	地域住民を招待する行事の実施ができていない
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		訓練の実施・実施報告をおこなっているが、周知されていないこともある	連絡ノート・HPなどで発信しているが、HPを見ない家庭には特に情報が届きにくい
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、訓練や研修等も適宜行っている	訓練後の振り返りや見直しが、形式的になりやすい

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		定期的に服用している薬について、アセスメントを行い確認をしている	発作対応や服薬介助について、実践的な研修機会が少ない
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーのある子どもへの、食事・おやつ提供について、保護者と事前に確認・取り決めを行っている	定期的なモニタリング時に、指示書内容の継続確認・更新の声かけを行う
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		救急・応急対応、災害時対応、感染症対策等の安全管理に関する研修や訓練を実施している	実際の支援場面を想定した事例検討やロールプレイ型研修を取り入れる
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○		避難訓練実施報告や、避難経路、場所等の周知を定期的に行っている	訓練内容や結果について、具体的な情報共有が不足しがち
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事故に至らなかった事例も共有し、未然防止の意識向上に努めている	事例共有時に、原因・背景・再発防止策を整理して検討する
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修を行い、虐待防止に対しての意識を高めている	研修内容を日常支援に活かすための実践的な検討や共有が不足している
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在までに身体拘束を行ったことはないが、身体拘束適正化のための指針を作成し、職員研修も行っている	具体的な事例を用いた研修やケース検討を行い、理解の統一を図る

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ミライクふくやま青葉台教室

公表日　2026年2月6日

利用児童数　49名　　回収数　33件

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30	3			少し狭いかもしれないが、パソコンがメインの活動なのと、近くに公園があるので良いと思う 気分によって過ごせるスペースがあるのが良い	今後も活動に合わせて安全に利用できるように配慮していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30	1		2	適切であると思う	人員配置基準を守り職員を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31			2	パソコンをする場所、遊ぶ場所がしっかり分かれているので子どもにも分かりやすい どこに何を片付けるかなど、分かりやすく工夫されている	今後も、活動内容に応じた空間づくりや、分かりやすい片付け表示を継続し、こどもが安心して過ごせる環境整備に努めていきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33				いつも清潔で明るく落ち着ける空間だと思う 適度なスペース配分がされている	今後も、清潔で落ち着ける環境を維持し、活動しやすいスペース配分を意識した環境整備に努めていきます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32			1	子どもの気持ちを第一に考え、どの先生も優しく対応されている 子どもにしっかり関り支援されていると思う	引き続き、こどもの気持ちに寄り添った関わりを大切にし、一人ひとりに応じた丁寧な支援を行っていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	32			1	はい 合っていると思います	支援プログラムを分かりやすく提示し、安心してご利用いただけるように工夫をしてまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33				子どもをよく見て得意な部分を伸ばし、苦手なことに沿った支援計画が作成されている	今後も一人ひとりの発達を踏まえたうえで、家庭とも連携をしながら個別支援計画の作成を行っていきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31			2	苦手な部分を改善できるように子どもの特性に応じて出来ることを提案、設定されている	ガイドラインに沿った支援項目を設定し、こども一人ひとりに応じた具体的な支援内容を計画に反映しています。今後も定期的な見直しを行っていきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33				はい	今後も、、保護者とともに日々の活動を振り返りながら、計画に沿った支援提供の充実に努めます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	1			色々なイベントが行われ工夫されていると思う	今後も、活動内容が固定化しないよう工夫し、さまざまなイベントや体験活動を取り入れていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	4	3	15	放課後児童クラブなどの交流は聞いたことがない	現状では交流の機会は少ないため、今後はこどもの状況に配慮しながら、地域交流の機会について検討していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33				利用の際に丁寧な説明がありました	今後も分かりやすく、説明していく事を心がけてまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33				あります いつもありがとうございます	今後も分かりやすく、説明していく事を心がけてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	2	1	9	参観日が設定されています	イベント等を通して、家族支援の機会を設け、家庭と共に総合的な支援を行える様にしていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	32			1	LINEなど何かあればいつでも連絡ができる環境なので良い 細かいことも日頃から伝えてくれる	保護者や子どもの状況に合わせ、可能な限り情報共有できるよう心がけています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32			1	定期的な面談があり、色々と相談しやすい雰囲気で助かってる	保護者からの相談があれば、家庭訪問や事業所内での対応を随時行っております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32			1	はい、十分されています 相談を親身に聞いて共感し、アドバイスもしてもらえています	今後も安心し信頼していただけるよう努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	5		10	親子参加やきょうだい向けのイベントなどに参加したことはないが、機会があれば参加したいと思います	家族参加のイベントは定期開催を行っておりますが、その他要望等があれば検討してまいります。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	1		6	きょうだいの事を一緒に相談した際も、いつでも対応してもらえている 学校での悩みを相談した時、迎え時の変化を見てまた声掛けをしてみると言われ嬉しかったです	重要事項説明書に明記し、契約時に説明をさせていただいています。相談や申入れがあった際には、内容を職員間で共有し、迅速かつ適切な対応が行えるよう努めています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32			1	ラインで連絡ができるので便利です イベントの案内など、ラインで送るだけでなく子どもにも見えるように教室の入口にいつも貼ってあるので分かりやすい	今後も意思疎通や情報伝達ができるように配慮します。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	27	2	1	3	HPの写真はイベント後に見るのが楽しみです 年の最後にラインアルバムで送られるのも嬉しいです 通信やSNSは発信されているか分かりません	ホームページで活動の様子を発信したり、所内掲示、SNS等を通じて今後もお知らせしてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32			1	HPの写真など、しっかりと個人の情報を保護しつつアップして下さっている	今後も取り扱いには十分留意し、定期的に、職員研修等も実施してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	1		8	避難訓練は知っているがその他のマニュアルについてはよく分かりません	今後も周知いただけるように取り組みます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28			5	避難訓練を行った時は、連絡帳で実施したことを伝えてもらえる 子どもが避難訓練に参加したことがあります	安全計画を策定し、研修・訓練・点検を定期的に実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	31			2	はい	職員の役割や子どもの特性の確認し、様々な状況を想定した訓練の実施に努めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	1		5	はい 事故などの経験がないため分かりません	速やかに家族等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	33				家のように安心しきっています 大切な居場所になっていると思います 先生や友だちとも慣れて話せているようです	今後も各家庭と子どもの成長発達等の連携を行い、信頼関係を築きながら、サービス提供を行ってまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	32			1	毎週本当に楽しみにしています 「絶対行く」とよく言っているので、楽しんでいると思います 朝から通所の日は喜んでいます	一人ひとりの興味や関心に合わせた活動を取り入れ、安心して楽しく通所できるよう支援しています。今後も、こどもの声や様子を大切にしながら、通所を楽しみに感じられる環境づくりに努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	33				専門的な支援はもちろん、コミュニケーションなど生活全般サポートしてもらえて安心しています 親子共に満足しています	子どもや保護者の声を大切にし、一人ひとりの状況やニーズに応じた支援の提供に努めています。 今後も、日々の支援を振り返りながら、支援内容の充実と質の向上に取り組んでいきます。